

# 誰もが活躍推進フェスタ 【秋田県秋田市】

総事業費	1,106千円
交付金額	460千円

## 地域の実情と課題

- ・秋田市人口ビジョンでは、2040年における本市の人口は、2010年と比較して約27%減少する見込みであり、多様な人材の活躍により地域社会を支えていく必要がある。
- ・令和3年度秋田市男女共生と多様性に関する市民生活調査では、家庭内での家事協力意識は高まっている一方、女性の家事負担がいまだ大きい実態があり、男性の家事育児参画意識を高める必要がある。

## 事業の特徴

仕事と生活の両立や、一人一人が個性や能力を發揮できる環境づくりの気運の醸成のため、アンコンシャス・バイアスの解消や、女性も男性も活躍できる職場環境づくりを推進するトークとパネル展、家庭内の性別役割分担意識の解消を目指す男性の家事・育児スキルアップ講座などで構成された「誰もが活躍推進フェスタ」を開催した。

## 事業の効果

- ・参加者アンケートにおける参加者の満足度は高く、全ての企画で「満足」が9割を超えた。また、「誰もが自分らしく活躍していくために必要なこと」への回答では「ワーク・ライフ・バランスの推進」と「性別による役割分担意識やアンコンシャス・バイアスの解消」が高く、特に後者は、男性・女性ともに関心が高く、女性活躍の推進に不可欠な取組であることが把握できた。
- ・男性を対象とした企画を加えることで、性別にとらわれず、多様な働き方や生き方などについて家族や学生など、幅広い層の市民が考える機会となった。
- ・トークやワークショップでは、地方で活躍する女性リーダーや女性起業家を講師としたことで、様々なスタイルで活躍する女性ロールモデルの情報発信につながった。

## 目的・目標

- ・事業目標の参加者数250人に対し、400人で達成率は160.0%であり、ほとんどの企画が定員を超える申込みであった。
- ・男性は97人参加し、参加対象事業での割合は30.3%となり、企画テーマを工夫することで、幅広い層の男性の事業に参加につながった。
- ・性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスについて広く市民に啓発する機会となった。

【目標】事業参加者数 250人⇒【実績】400人 (+150人)

## 連携団体

「秋田市男女共生推進会議」

【構成団体】秋田県立大学、秋田商工会議所、秋田人権擁護委員協議会、一般社団法人秋田県助産師会、秋田労働局、秋田県中央男女共同参画センター（指定管理団体－NPO法人いきいきFネット秋田）、あきたF・F推進員、市内事業所ほか

## 今後の課題

- ・女性の就業・起業等を支援するため、家庭内の性別役割分担やアンコンシャス・バイアスの解消に向け、次年度事業で引き続き意識啓発していく。
- ・女性が主体的にキャリアアップを描くためには、様々なスタイルで活躍する多様な女性ロールモデルが必要であり、あらゆる機会を活用し、情報提供を行う必要がある。

## 誰もが活躍推進フェスタ

仕事と生活との両立および一人ひとりが個性や能力を発揮できる環境づくりを一層推進するため、トークとパネル展、ワークショップを開催

- 1 開催日 令和5年8月19日・20日
- 2 会場 秋田市文化創造館
- 3 対象者 働いている女性、市民
- 4 来場者数 400人
- 5 実施内容

### 【1日目】秋田市未来☆トーク

「できない」という思い込みとの向き合い方、自分らしい働き方や生き方について考えるトーク

### 【2日目】ワークショップ

女性起業家によるワークショップ、男性の家事・育児スキルアップ講座

### 【両日】女性ロールモデルのパネル展

